

## 令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 防災行政無線多メディア一斉配信システム整備基本施策名： 1-1 防災・減災対策の推進担当部課名： 市民生活部市民安全課

## 1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	14,144	11,824	2,320	0	0	0
補正後予算額	14,144	9,302	2,421			2,421
決算額						

## 2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

災害時等に市からの緊急連絡を迅速に伝えるため、1つの端末から、防災行政無線、メール配信サービス、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、LINEへの一斉配信と聞き取りやすい合成音声での放送が可能となる「防災行政無線多メディア一斉配信システム」を、6月以降順次導入していきます。

## 3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和4年10月1日

6月入札で事業者が決定し、防災行政無線多メディア一斉配信システムの導入に向けて、1つの端末から、防災行政無線、メール配信サービス、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、LINEへの一斉配信をするため、現在システムの構築を進めています。9月下旬に行った庁舎内のネット配線状況の現地調査をふまえ、令和5年3月の運用開始を目途に準備を進めています。

## 令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： あびこ洪水避難情報マップの作成基本施策名： 1-1 防災・減災対策の推進担当部課名： 市民生活部市民安全課

## 1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	3,971	1,985	100	0	0	1,886
補正後予算額						
決算額						

## 2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

令和3年度の災害対策基本法改正の内容 (避難指示への一本化等) を中心に、洪水時の避難に特化した洪水避難情報冊子61,000部を6月末までに作成します。冊子は7月中に自治会等を通して各世帯に配布し、洪水時の安全な避難行動や防災対策を広く周知します。

## 3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和4年10月1日

洪水時の避難に特化した洪水避難情報冊子61,000部を6月末に作成し、7月に市内6会場にて、自治会及びまちづくり協議会に対して説明会を実施し、自治会を通して各世帯に冊子の配布が完了しました。今後は、必要に応じて出前講座などで、洪水時の安全な避難行動や防災対策について広く周知していきます。

## 令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 避難所への無料Wi-Fiの設置基本施策名： 1-1 防災・減災対策の推進担当部課名： 市民生活部市民安全課

## 1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	396	396	0	0	0	0
補正後予算額						
決算額						

## 2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

市内全小中学校に整備されているWi-Fi設備を活用し、災害時に避難所となる体育館において8月までにWi-Fiを利用できるよう、新たに設定します。

## 3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和4年10月1日

市内全小中学校の体育館でWi-Fiが利用できるよう、5月末に無線LANの設定が完了しています。災害時の避難所開設時には市内全小中学校体育館においてWi-Fiを利用することができます。

## 令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 布佐排水区の整備基本施策名： 1-2 浸水対策の推進担当部課名： 建設部治水課

## 1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	337,711	128,200	0	191,300	0	18,211
補正後予算額						
決算額						

## 2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

布佐地区の浸水被害を軽減するために、平成26年に完成した布佐ポンプ場までの幹線整備を引き続き進めていきます。令和3年度からの2か年継続事業である布佐排水区(4工区)雨水幹線整備工事は、令和5年2月の完了を目指します。また、当該工事完了後に引き続き工事が行えるように、布佐排水区(5工区)雨水幹線整備工事の発注の準備をしていきます。

## 3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和4年10月1日

令和3年度からの2か年継続事業である布佐排水区(4工区)雨水幹線整備工事は、製品の工場製作などを進めるとともに準備工事を行っています。令和5年2月の完了を目指します。また、当該工事完了後に引き続き工事が行えるように、布佐排水区(5工区)雨水幹線整備工事の発注の準備をしていきます。

## 令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 若松第1～第5排水区の整備

基本施策名： 1-2 浸水対策の推進

担当部課名： 建設部治水課

## 1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	160,100	53,000	0	99,700	0	7,400
補正後予算額						
決算額						

## 2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

若松地区の浸水被害を軽減するために、樋管までのバイパス管の整備を引き続き進めていくとともに、千葉県湖岸堤整備にあわせて樋管管理橋及び護岸整備を進めていきます。バイパス管工事について、令和3年度から繰り越ししている若松第4排水区(3-2工区)雨水管布設工事は、令和4年7月の完了を目指します。

また、引き続き、若松第4排水区4工区の発注の準備を進め、令和5年3月の完了を目指します。管理橋及び護岸の整備工事について、繰り越ししている第4樋管と第5樋管は、千葉県と調整し、令和4年4月の完了を目指します。また、引き続き第3樋管についても千葉県と調整し、令和5年3月の完了を目指します。

## 3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和4年10月1日

バイパス管工事について、令和3年度から繰り越ししている若松第4排水区(3-2工区)雨水管布設工事は、令和4年9月末に完了しました。また、若松第4排水区4工区雨水管布設工事は、令和4年9月に契約し、令和5年3月の完了を目指します。

管理橋及び護岸の整備工事について、繰り越ししている第4樋管と第5樋管は、令和4年6月に完了しました。また、最後となる第3樋管についても千葉県と調整し、令和5年3月の完了を目指します。

## 令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名：柴崎排水区の整備（柴崎幹線整備事業）

基本施策名：1-2 浸水対策の推進

担当部課名：建設部治水課

## 1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	428,966	127,000	0	275,300	6,000	20,666
補正後予算額						
決算額						

## 2. 当該年度執行計画（目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載）

柴崎地区の浸水被害を軽減するために、令和元年に完成した後田樋管までの幹線整備を引き続き進めていきます。令和2年度からの3か年継続事業である柴崎幹線（2工区）整備工事は、令和4年11月の完了を目指します。

また、当該工事完了後は、令和5年度からの柴崎幹線（3工区）整備工事に向けて準備していきます。

なお、令和3年度から繰り越ししている柴崎雨水幹線JR横断部管路施設基本設計については、JR東日本との協議を重ね、令和4年6月の完了を目指します。

## 3. 進行状況の報告

報告基準日：令和4年10月1日

令和2年度からの3か年継続事業である柴崎幹線（2工区）整備工事は、令和4年11月の完了を目指します。また、当該工事完了後は、令和5年度からの柴崎幹線（3工区）整備工事に向けて準備を進めていきます。

令和3年度から繰り越ししている柴崎雨水幹線JR横断部管路施設基本設計については、JR東日本との協議を重ね、令和4年9月末に完了しました。

## 令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： (仮称) 湖北消防署整備

基本施策名： 1-4 消防力の強化

担当部課名： 消防本部総務課

## 1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	40,688	0	0	29,800	0	10,888
補正後予算額	40,055	0	0	29,800	0	10,255
決算額						

## 2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

建築から40年以上が経過し、老朽化が著しい東消防署湖北分署庁舎を移転し、令和8年度中の開所を目指して新たに(仮称)湖北消防署として庁舎と総合訓練施設等を整備します。

今年度は、令和6年度から建設工事に着手できるよう、令和3年度に引き続き設計を実施します。

## 3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和4年10月1日

設計業務は、令和5年夏頃には、都市計画法に係る同意、秋頃には、建築に係る確認済証の交付を受ける予定となっており、令和6年度からの工事着手に向け、概ね予定どおり進んでいます。

道路課所管の市道45-022号道路認定が線形の決定等に係る警察協議に時間を要し、次年度に先送りとなったことから、当初今年度実施する予定であった道路敷地から消防敷地に所管替えするための登記は、次年度、道路の認定が完了次第実施する予定です。

【9月補正予算】633千円減額(手数料)